

2023 年度

## 総会議案書

---



2023年6月5日(月)

- ・議案書の各議案に対して、E メール、もしくは、手紙、ファックス、電話等で、承認か否かの表明をいただきます。
- ・併せて、議案内容について、同封添付の「意見書」にご意見をお願いいたします。ご意見の表明は、この様式でなくてもかまいません。
- 提出期限は、6月5日(月)午後6時までと致します。
- ・承認か否かの意見が分かれた議案については、後日、CC メールにてご案内の上、意見交換を行い、結論を得るように致します。

# 総 会 順 序

(議案書 目次)

1 会 長 挨 拶

2 議 事

第1号議案 2022 年度事業報告

第2号議案 2022 年度収支決算報告

< 監 査 報 告 >

第3号議案 2023 年度事業計画(案)

第4号議案 2023 年度収支予算(案)

第5号議案 役員の再編

第6号議案 会則の一部修正

『土香る会』会則 修正案

長かった冬も終わり、漸く春らしい日差しと気温になってまいりました。この冬の降雪量は、俱知安ではこれまでの2番目の多さだったとか。厳しい寒さに加えて連日の雪かきで私はへトへトになりましたが、皆さんの所でも状況は同じだったと思います。お元気でいらっしゃいますか。

個人情報の保護という観点から皆様には会員名簿をお届けしておりませんので実感がないと思いますが、どこの町でも直面している高齢化の波は土香る会にも確実に及んでおります。会員の多くは高齢者です。若い世代（といっても20～50歳代です）にもっと会員になってもらい、絶えず新陳代謝できるのが会の存続には不可欠の条件だと考えるのは私だけではないでしょう。

皆様は何が目的で会員になっていらっしゃいますか。

私は会員になるまで有島武郎がどんな人で、何をした人か全く知りませんでした。当然作品を読んだこともありませんでした。しかし、事務局や会長の仕事をさせていただく中で私の頭を占めていたのは、「有島のまち」という看板を掲げているものの、町民のほとんどは有島武郎とは無関係にこの町で暮らしているということです。つまり、有島武郎は宙に浮いてしまっているように見えます。看板にふさわしく、「有島のまち」になろうとは思わないのでしょうか。看板が上がってれば十分なのでしょうか。

なぜ有島武郎は読まれないのかを考えたとき、思い浮かぶことが2つあります。一つは有島の最後です。もう一つは、作品が気軽に読めるものではないということです。

最初のことは、有島の作品その他を読み、様々な状況を知って初めて冷静に考えられるように思いますので、簡単には手が付けられません。

役員会で話し合っ、もう一つの方に挑戦しようとなりました。旧字体、旧仮名遣いで書かれている作品はいかにも敬遠されそうですので、新字体、新仮名遣いに改めよう。さらに、読んでみよかなと思える作品を選んで文庫本を出版しようとなりました。昨年度に始まった事業ですが、これなら読みやすいし面白いと思ってもらえるのではないかとワクワクしています。近々出版される予定ですので、その折にはご案内致します。

毎年たくさんの事業を企画すれば皆様の興味関心を引くものが一つはあるかもしれないと思いながら進めて参りましたが、事業の担い手も少人数で限りが見えてきました。いくつもの事業を用意しても皆様からの反応がないのではやり甲斐がありません。事業企画を欲張らずに出来る範囲に絞っていく方向に変わっていくようにも思います。皆様のご意見、お考えをお聞かせください。

# 第 1 号議案

## 2022 年度事業報告

2022 年度においては、次の事業を実施しました。

### 1 「会報」の発行

年 2 回発行となっている「会報」は、9/30 に第 14 号、3/31 に第 15 号を発行しました。



### 2 会員証の発行

2023 年度の「会員証」を、3 月に作成しました。

今回の会員証は、藤波ひとみさんのデザイン・レイアウトによるものです。

併せて、これまでのデザインを担当してくださった方にも、心より感謝申し上げます。

2022 年度当初の会員数は 62 名（うち法人会員 1）でしたが、2023 年度は 51 名（うち法人会員 3）からの再出発となります。



### 3 読書会

前年に続くコロナ禍の22年度は4月と6月の2回、ニセコ町学習交流センター「あそぶっく」で開催しました。参加者は、毎回6名前後でした。この2回で、有島武郎の創作作品をほぼ全て読み終えたので、読書会を一旦終了としました。

毎回の読書感想文集は、その月に発行しました。

月別の使用テキストは、次表の通りです。

44	2022	4月	ドモ又の死
45		6月	断橋／或る女(後編から)

### 4 土香るラジオ文芸館（ラジオニセコ）

ラジオニセコで、4月から毎月1回第1～3金曜日のいずれかで、午後4時から1時間の番組「土香るラジオ文芸館」を放送しました。毎回、様々なゲストをお招きするインタビュートークを中心として、その他にも土香る会の土香る会の活動情報や有島記念館の行催事の情報提供を行ってきました。また、3月がこの番組の最終回となりました。

各月の放送の内容は、次の通りでした。（敬称略）

#### 2022年度

月	月間テーマ	ゲスト (インタビュー)	ゲストとの話題
4	都市未来研究会 IN NISEKO⑤	土谷貞雄⑧	パターン・ランゲージって、何？①
5	都市未来研究会 IN NISEKO⑥	土谷貞雄⑨	パターン・ランゲージって、何？②
6	有島農場解放100年記念	氏家健太	有島第二農場の今
7	ニセコの国際交流員活動から	ホーリーシン	マレーシアにおける日本文化
8	有島記念館と芸術①	寺嶋弘道①	芸術における学芸員の役割①
9	ニセコの国際交流員活動から	ミCHEL・ラング／メイ・カンナン	国際交流員活動を振り返って
10	有島記念館と芸術②	寺嶋弘道②	芸術における学芸員の役割②
11	有島記念館と芸術③	寺嶋弘道③	コラム記事「番茶の味」から①
12	有島記念館と芸術④	寺嶋弘道④	コラム記事「番茶の味」から②
1	有島記念館と芸術⑤	寺嶋弘道⑤	コラム記事「番茶の味」から③
2	有島武郎と岩内白水会	枝元るみ	「白水会」の活動とその意義
3	最終回：有島武郎とラジオニセコ	宮川博之	ラジオ文芸館6年間の振り返り

### 5 ホームページの運用

土香る会の公式ホームページにおいて、土香る会の事業案内と活動状況の報告や紹介など、随時情報を更新してきました。特に、2022年度は、有島農場解放百年を記念する事業について、特別コーナーを設置して記念事業の進展に伴う情報の提供を行いました。

URLは、次の通りです。「土香る会」でキーワード検索もできます。

<https://tsuchikaoru-kai.org>



### 土香る会とは

「土香る会」は、有島記念館（北海道ニセコ町）と歩む会です。  
文豪・有島武郎の生き方と芸術に学び、遺訓を偲ぶ有島謝恩会との連携を目指します。

土香る会は[こちら](#)



### 事業内容

「土香る会」は、会報の発行や読書会、地域のコミュニティーFMラジオの番組など、多様な自主的事業を企画し、実践しています。

事業内容は[こちら](#)



### 会員募集

「土香る会」は、多様な人々が結びつき、自主的で自由な活動を行なっています。有島武郎の「相互扶助」の精神を目指すニセコ。「土香る会」の輪に、あなたも入りませんか。

会員募集は[こちら](#)

## 6 視察研修旅行

新型コロナ感染防止のため、事業を中止しました。

## 7 「第3回カフェ土香る」の実施

新型コロナ感染防止のため、事業を中止しました。

## 8 「未来会」の活動

新型コロナ感染防止のため、事業を中止しました。

## 9 星座忌における献花

6月11日、有島武郎没後99年目の「星座忌」において、土香る会井上剛会長が献花を行いました。

## 10 有島記念館の開催事情の発信



新型コロナ感染防止のため事業の中止が多く、情報発信はしませんでした。

## 11 有島謝恩会との交流

有島謝恩会が毎年行っている有島灌漑溝の泥上げ（5月）と草刈り（6月）に参加しましたが、弥照神社の春祭り（3月）、秋祭り（9月）は、新型コロナ感染防止のため、有島謝恩会のみで行うこととなり、土香る会からの参加はしませんでした。



## 12 他団体との連携活動

### （1）岩内町郷土館との連携

岩内町郷土館所蔵の『白水会記録会計』のデジタルアーカイブ化について、岩内町郷土館と共同で進めました。具体的には、『白水会記録会計』のスキュンデータの作成とそのテキストデータ化作業です。その成果は、有島農場解放百年記念事業として、土香る会と岩内町郷土館のそれぞれのホームページ上で公表しました。



## 13 有島農場解放百年記念事業

有島農場の無償解放百年を記念する事業を行いました。その概要は、次の通りです。

### （1）『白水会記録会計』のWEB版編集発行

岩内町郷土館が所蔵している史料、大正から昭和にかけての『白水会記録会計』（佐藤弥十郎著）について、岩内町郷土館の許可を得て、土香る会の会員数名と地元の研究者によって原本の複写とテキストデータ化作業を行ったものを、一般に公開しました。

有島武郎は1922.7.18に農場解放宣言を行うために狩太に来た折、木田金次郎に誘われて、その前々日から前日にかけて岩内を訪れました。その折に、

当時岩内の知識人たちに絶大な人気を誇っていた有島武郎を大歓迎する講演会などが催され、心の交流が行われたことを記念して、地元の若い人たちが作ったグループが「白水会」です。それは1922.7.17、つまり、農場解放宣言の前日のことでした。



以降、白水会は岩内町の文化活動の先鋭的な活動を牽引していったのです。

「白水」というのは、有島武郎の個人雑誌「泉」の文字を二つに分けた命名です。「テキスト版白水会記録会計」は、土香る会のホームページで見ることができます。

<https://tsuchikaoru-kai.org/wp-content/uploads/2022/07/9d7492837071ea8467a0c92b932b77b9-1.pdf>

また、岩内町郷土館のホームページでも見ることができます。

<https://tsuchikaoru-kai.org/wp-content/uploads/2022/07/9d7492837071ea8467a0c92b932b77b9-1.pdf>

## (2) 有島農場解放宣言文への感想文募集

有島農場解放宣言記念日の7月18日を締切期限に、解放宣言文への感想を広く募集しました。一般の方4名とニセコ中学校生38名から感想文を寄せていただきました。それぞれの感想文を読むことで、農場解放宣言の歴史的意義と今日の私たちにとっての意味について、様々な切り口から想いを深めることが出来ました。

土香る会のホームページに掲載しました。

[https://tsuchikaoru-kai.org/mourning\\_event](https://tsuchikaoru-kai.org/mourning_event)

## (3) 斎藤幸平さんの講演会

有島農場解放百年を記念する事業の一環として、『人新世の「資本論」』の著者斎藤幸平氏をニセコ町にお迎えして、記念講演会を開催する計画を立て、2022年8月7日(日)午後2時～4時実施の方向でしたが、斎藤幸平さんのご家族がコロナに感染したことから、今年度は延期、そして中止となりました。

## (4) 「狩太夜話」第一集のテキストデータ発行

有島記念館に所蔵されている斎藤修二氏著『狩太夜話』全八輯から、第一輯(昭和29年11月)のテキストデータ版の編集と発行を行いました。著者の手書きの原稿を判読しながらのテキストデータ化であり、会員4名のプロジェクトチームにより作業が進められ、3月末に、土香る会のホームページ上に公表しました。次年度からは、続けて第二輯に取りかかる予定です。

2022 農場解放百年

有島武郎

# 私からのお願い

## 解放宣言文の感想を募集します

明治から大正にかけて、狩太村と称されていた当時のニセコに有島農場がありました。農場主は、小説家の有島武郎でした。1922(大正12)年に、有島武郎は、全小作人が協力一致して農場を運営することを条件に農場を小作人に無償で解放しました。農場解放にあたって、有島武郎は「解放宣言」を発しています。ニセコ町は、この「解放宣言」に示された「相互扶助」を、まちづくりの基礎に据えています。

農場解放100年を機会に有島農場解放宣言文を読み、ニセコ町のまちづくりについて思いを巡らし、感想文を書いてみましょう。  
応募作品は、土香る会のホームページにて発表いたします。

- 「農場解放宣言文」(解放記念碑文)は裏面に掲載してあります
- 感想文の応募方法等については、裏面をご覧ください
- 主催：土香る会(有島記念館と歩む会)
- 後援：有島謝恩会、有島記念館、ニセコ町

2022年 斎藤幸平 × 1922年 有島武郎

## 有島農場解放百年記念 斎藤幸平氏講演とトークのつどい

1922(大正11)年に有島農場を無償解放した有島武郎の思想「コモンズと相互扶助」を、これからの脱成長社会に生かすためどうしたらいいのでしょうか。著書『人新世の「資本論」』のなかで「コモンズと相互扶助」を掲げた斎藤幸平氏をニセコ町にお迎えし、皆さんと一緒に考えたいと思います。

■講演 斎藤幸平氏(東京大学大学院総合文化研究科・教養学部准教授)  
演題 人新世の「コモンズと相互扶助」  
■インタビュートーク 斎藤幸平氏×梅田滋氏(土香る会事務局長)

日時 8月7日(日)午後2時～4時  
会場 ニセコ町民センター1階大ホール  
入場料無料(事前申し込みは不要です)

■主催 土香る会(有島記念館と歩む会)  
■後援 有島謝恩会、有島記念館、ニセコ町、農市未来研究会 NISEKO



## （５）文庫本の発行

有島武郎の作品を、新たな視点から多くの人に親しんでいただくことを目標として、作品集の文庫本の出版を行うことにしました。その第1弾として、農場解放百年を機に、有島武郎の作品の中から翻案（原作の内容を元にして改作すること）によるもの3点を企画しました。有島武郎の作品とその原作となった他作家の作品を読み比べて、有島の創作意図を考えてみようという趣旨です。作品は、次の3点です。『燕と王子』（オスカー・ワイルド『幸福な王子』）、『小さい夢』（ジョン・ゴールズワージー『小さい夢』）、『ドモ又の死』（マーク・トウェイン『彼の生死は？』）。印刷・出版は、次年度へと繰り延べられました。

## 第2号議案

### 2022年度収支決算報告

2022年度土香る会の収支決算報告について、次ページのとおり提案いたします。

2023年6月

土香る会  
会長 井上 剛

## 2022年度収支決算書

### 【一般会計】

#### 収入の部

科目	本年度予算額	本年度決算額	△比較増減	備考
会費	87,000	86,000	△1,000	5口4名、3口1名、2口10名、1口36名 計51名
雑収入	264	0	△264	預金利息 0円
前年度繰越金	169,736	169,736	0	
合計	257,000	255,736	△1,264	

#### 支出の部

科目	本年度予算額	本年度決算額	△比較増減	備考
事業費	57,000	77,399	20,399	ホームページ制作費・メンテナンス費 52,214円 講演会チラシ印刷代 20,190円 講演会チラシ新聞折り込み代 4,995円
会議費	10,000	1,500	△8,500	役員会会場使用料 1,500円
事務費	50,000	1,954	△48,046	通信費(切手代) 520円 事務用消耗品 1,434円
記念館に寄付	18,800	18,800	0	(注1)
予備費	121,200	0	△121,200	
合計	257,000	99,653	△157,347	

収入金額 255,736円－支出金額 99,653円＝次期繰越金 156,083円

(注1) 10,000円+(88口×100円)

### 【特別会計】

#### 収入の部

科目	本年度予算額	本年度決算額	△比較増減	備考
売上	0	0	0	
雑収入	581	12	△569	預金利息
前年度繰越金	837,419	837,419	0	
合計	838,000	837,431	△569	

#### 支出の部

科目	本年度予算額	本年度予算額	△比較増減	備考
書籍発行	0	0	0	
事業費	0	0	0	
合計	0	0	0	


収入金額 837,431円－支出金額 0円＝次期繰越金 837,431円

土香る会  
会長 井上 剛 様

監査意見書

2022 年度収支決算書について関係帳簿等により監査したところ、その内容は適正なものと認めます。

2023 年 4 月 14 日

監査 佐竹 三郎 

監査 山崎 英文 

## 第3号議案

### 2023 年度事業計画(案)

2023 年度土香る会の事業計画(案)について、次のとおり提案いたします。これまでの事業全体を見直し、有島武郎の業績や有島農場とニセコの関わりについて多くの人に広く知っていただくことを目的とした事業に絞って、会員の活動を進めることとします。その観点から、次の事業を推進します。

#### 1 土香る会の「会報」を定期発行する(16号、17号)

9月30日に第16号、3月31日に第17号を発行します。これまでと同様、会員にはメール添付でデータ配信し、メールアドレスを持っていない会員にはプリントして届けます。また一般の方も持ち帰りできるよう、記念館内ブックカフェとあそぶっくに置く予定です。

#### 2 「未来会」の活動

コロナの状況にも注意しながら、有島農場の史跡などをめぐるフットパス事業を行います。会員以外の方にも参加していただけるよう呼びかけをします。

#### 3 有島武郎関連の書籍の販売

「星座の会」より引き継いでこれまで行ってきた書籍の販売については、昨年度、その事業に関する一切の業務と権利について、有島記念館に引き継ぎました。

一方では、昨年「有島農場解放百年記念事業」の一環として、土香る会の新たな出版事業として、有島武郎作品の文庫本化を進めています。今年度は第1集を発行する予定であると同時に、続けて第2集以降の発行についても検討をすすめていきます。

#### 4 デジタルアーカイブ（電子媒体での記録保存）事業

昨年度は有島記念館所蔵アーカイブのデジタル化作業として、『狩太夜話／第一輯』のテキストデータ化を行いました。その結果として、2023年3月に土香る会のWEBサイト上で公表できましたので、今年度は、その第二輯の発行を目指します。また、作成したデジタルアーカイブを活用した勉強会や視察などを検討します。

#### 5 ホームページ運営

2021年度に開設した土香る会のホームページの情報更新などを中心に、コンテンツの拡充を図ります。

## 第4号議案

### 2023年度収支予算（案）

2023年度土香る会の収支予算（案）について、次ページのとおり提案いたします。

2023年 4月

土香る会  
会長 井上 剛

## 2023年度予算(案)

### 【一般会計】

#### 収入の部

科目	前年度予算	本年度予算	△比較増減	備考
会費	87,000	80,000	△ 7,000	
雑収入	264	917	653	預金利息等
前年度繰越金	169,736	156,083	△ 13,653	
合計	257,000	237,000	△ 20,000	

#### 支出の部

科目	前年度予算額	本年度予算額	△比較増減	備考
事業費	57,000	52,000	△ 5,000	WEB管理費(事務ねこ舎) 50,000 円 ドメイン更新費 2,000 円
会議費	10,000	0	△ 10,000	役員会会場使用料等 0 円
事務費	50,000	50,000	0	プリンター用インク代 20,000 円 振込用紙など手数料 10,000 円 封筒代 2,000 円 通信費 8,000 円 コピー用紙代、その他 10,000 円
記念館に寄付	18,800	18,600	△ 200	定額分10,000円+前年度会費口数86口×100円(注1)
予備費	121,200	116,400	△ 4,800	
合計	257,000	237,000	△ 20,000	

### 【特別会計】

#### 収入の部

科目	前年度予算額	本年度予算額	△比較増減	備考
売上	0	0	0	
雑収入	581	569	△ 12	預金利息等
前年度繰越金	837,419	837,431	12	
合計	838,000	838,000	0	

#### 支出の部

科目	前年度予算額	本年度予算額	△比較増減	備考
書籍発行	0	150,000	150,000	文庫本発行費
事業費	0	0	0	
事務費	0	10,000	10,000	ISBNコード登録手数料
合計	0	160,000	160,000	

## 第5号議案

### 役員一部改選

昨年度末までに、役員と事務局の異動がありました。

- ・副会長の磯野美和氏と理事の磯野浩昭氏が、退会いたしました。
- ・監事の山崎英文氏と会長の井上剛氏、事務局長の梅田滋氏がそれぞれ退任いたしました。

以上の状況を踏まえて、2023年度から従来の役員体制に代えて、各事業を具体的に担う「運営委員会」方式で会を運営することとします。

「運営委員会」が従来の「役員会」としての決定権を担います。並行して運営委員が事業ごとの実行委員会を作って各事業を推進します。また、これまでの「事務局」の機能も果たしていくことになります。

再編の趣旨は、会の規模と活動実態に見合った組織体制にすることです。

「監事」は、従来通り、運営委員会とは別枠で機能します。

2022年度(末)の役員体制		➔	2023年度の体制	
会長	井上剛		運営委員会 ＝ 役員・事務局 を兼務（事務局 は役割分担 で）	井上剛
副会長		氏家健太		
理事	井上剛	梅田滋		
	斉藤海三郎	春日井雅子		
	高木直良	斉藤海三郎		
	藤波ひとみ	櫻井麻衣子		
水町由理子	高木直良			
監事	佐竹三郎	藤波ひとみ		
	山崎英文	佐竹三郎		
事務局 (会計)	梅田滋	水町由理子		
	春日井雅子			

※五十音順

※五十音順

※新たな体制（運営委員会）の案について、承認か否か、意見表明をお願いします。

→別紙「議案書への意見書」に記載してください。

※運営委員会の案について会員みなさんから承認があったのちに、

運営委員会の中で会長（運営委員会の代表）を互選します。



## 第 6 号議案

### 会則の一部修正

『土香る会』会則の一部を修正します。修正箇所については、下記における下線部分とします。

#### 『土香る会』会則

(名 称)

第 1 条 この会は、『土香る会』～有島記念館と歩む会～と称する。

(目 的)

第 2 条 この会は、有島記念館(以下記念館と略することがある)と協力関係を保ちながら、有島武郎の業績、及び、有島農場とニセコ町(旧狩太村)の関係史に学びつつ、有島武郎とニセコ町の関わりについて広く知っていただく事業や活動を行うとともに、有島武郎に関する理解を深め、あわせて会員相互の親睦と交流を図ることを目的とする。

(会員及び構成)

第 3 条 この会の会員は、この会の趣旨に賛同する個人及び法人・団体をもって構成する。

2 この会に入会した会員には、会員証を交付する。

(事 業)

第 4 条 この会は、第 2 条の目的を達成するため次の事業を行う。

(1)有島武郎の業績とニセコ町との関わり について広く知っていただく啓発活動や地域文化の振興に関する事業

(2)デジタルアーカイブ(電子媒体による記録保存)化作業や出版物、会報等広報メディアの編集発行

(3)研修会等の開催

(4)有島記念館の事業への協力

(5)会員相互の親睦と交流に関する事業

(6)その他必要な事業

(運営委員会)

第 5 条 この会に、運営委員会を置く。委員の任期は 2 年とするが、再任は妨げない。

(1)会 長 1 名(運営委員会の代表となる)

(2)運営委員 若干名

(3)監 事 2 名(運営委員以外)

2 運営委員は、会員の中から総会において選任する。

3 事務局及び会計は、運営委員が役割を分担する。

4 運営委員の職務は、次の通りとする。

(1)会長は、会を代表し、会務を統括する。

(2)運営委員会は、会の活動や事業を担う。事業ごとに実行委員会を作り、運営委員以外の会員等の参加を呼びかけて遂行する。

(3)監事は、この会の会計を監査するほか、会務も監査する。

(事務局)

第6条 この会に、事務局及び会計を置く。

2 事務局及び会計は、運営委員が役割分担しながら機能を果たす。

3 事務局は、ニセコ町字富士見 31 番地 41 に置く。

(会議)

第7条 この会議は、総会と運営委員会議とする。

2 総会は、定期総会を年 1 回開催し、臨時総会は必要に応じて開催することができる。3 次の事項は、総会の決議を経るものとする。

(1)会則の改廃に関する事

(2)事業計画及び事業報告に関する事

(3)予算及び決算に関する事

(4)役員を選任に関する事

(5)その他重要な事項に関する事

4 運営委員会議は、必要に応じて開催する。

5 会議の議長は会長がこれにあたり、議事は出席者の過半数で決する。

6 総会及び運営委員会議は、会長がこれを招集する。

(会計)

第8条 この会の経費は、会費、事業収入、補助金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

2 会費は、次の通りとする。

(1)個人会員 年額 1 口 1,000 円

(2)法人・団体会員 年額 1 口 5,000 円

3 この会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。(会員の特典)

第9条 会員は、次の特典を受けることができる。

(1)有島記念館又はこの会が発行する刊行物(参考資料等を含む)の、無償又は一部割引での頒布

(2)有島記念館の常設又は特別展示の、無料での観覧

(3)有島記念館又はこの会が主催するイベント事業の、無料又は一部負担による参観

(4)会報の配布

(補足)

第10条 この会則に定めるもののほか、重要な事項はその都度運営委員会議に諮り、定める。ただし、緊急止むを得ない場合は、会長が専決処分することができる。この場合において、会長は次回の運営委員会議に報告し、承認を得なければならない。

## 附則

- 1 この会則は、2002(平成 14)年 10 月 21 日から実施する。
- 2 会則第 9 条(新第 8 条)の改正は、2005(平成 17)年 4 月 1 日から実施する。(事業年度の特例)
- 3 事業年度改正時の事業年度は、第 9 条(新第 8 条)に拘らず、2005(平成 17)年 1 月 1 日に始まり、2006(平成 18)年 3 月 31 日に終わるものとする。
- 4 会則第 3 条(新第 6 条に当たる)の改正は、2006(平成 18)年 6 月 7 日から実施する。
- 5 会則第 7 条を削除し、以後の条数を順次繰り上げる改正は、2016(平成 28)年 7 月 2 日から実施する。
- 6 会則第 3 条を削除して、第 6 条までの条数を順次繰り上げ、そのあとに新第 6 条を追加する改正は、2016(平成 28)年 7 月 2 日から実施する。
- 7 併せて、会則第 1 条、第 2 条、新第 4 条、新第 5 条の改正についても、2016(平成 28)年 7 月 2 日 から実施する。
- 8 会則第 6 条第 2 項の改正は、2022(令和 4)年 4 月 1 日から実施する
- 9 会則第 2 条、第 4 条、第 5 条、第 6 条、第 7 条、第 10 条の改正は、2013(令和 5)年度総会(6 月 5 日) から実施 する